

主催：（公財）世界宗教者平和会議（WCRP/RfP）日本委員会

戦争を超え、和解へ 諸宗教協力に基づく平和構築の実践とは

2022年2月のロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻は未だ終結が見えず、多くの市民が国内外への避難を余儀なくされ、ウクライナ国内での人道上の危機的状況は長期化しております。ウクライナのみならず、アフガニスタンやミャンマー、アフリカなどにおいても、政治的混乱や武力紛争によって多くの人々が暴力の影響を受けています。

これらの戦争・紛争・暴力を諸宗教の連帯を通じて乗り越えるために、WCRP日本委員会は、ウクライナ難民人道支援ボランティアをポーランドに派遣すると共に、9月にはWCRP/RfP国際委員会との共催のもと、諸宗教平和円卓会議（第1回東京平和円卓会議）を開催いたしました。この円卓会議は、暴力の連鎖を超え、紛争後の現実へいかに歩みを進めるかを共に考えることを目的に開催され、ブルキナファソ、エチオピア、ミャンマー、ロシア、南スーダン、シリア、ウクライナなど、14カ国の宗教指導者や政府関係者、政治家らが集いました。円卓会議の討議を通して、戦争・暴力下にある国々の宗教指導者は、紛争下で直面する経験の共通点を明らかにし、宗教的言説が戦争の目的にも平和への目的にも等しく使われるという葛藤を指摘しました。そして、立場の違いはあったとしても平和を求めるための継続した対話が必要であることが確認されました。

この度の新春学習会では、WCRPの使命である平和な社会の実現に向けて、平和のあり方をこれまでの歴史から紐解き、学びを深めると共に、諸宗教による具体的な平和構築の実践について考える契機とさせていただきます。

また、本年度の新春学習会は対面とオンラインの両方を活用して開催いたします。新春学習会の会場では、参加者の皆様が交流できるスペースを設け、茶話交流会を併せて開催いたします。



新春学習会 / 茶話交流会

2023.1.26(木) 14:15~17:00

基調講演 たなかゆうこ 田中優子先生（法政大学名誉教授・前総長）




法政大学社会学部教授、国際日本学インスティテュート（大学院）運営委員長、社会学部長、総長を歴任。専門は日本近世文化・アジア比較文化。研究領域は、江戸時代の文学、美術、生活文化。『江戸の想像力』で芸術選奨文部大臣新人賞、『江戸百夢』で芸術選奨文部科学大臣賞・サントリー学芸賞。その他多数の著書がある。江戸時代の価値観、視点、持続可能社会のシステムから、現代の問題に言及することも多い。2005年度紫綬褒章。現在、東京都男女平等参画審議会会長、一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会副理事長、人間文化研究機構教育研究評議会評議員、サントリー芸術財団理事、『週刊金曜日』編集委員、TBS「サンデーモーニング」のコメンテーターもつとめる。

お問い合わせ メール rfpj-info@wcrp.or.jp 電話 03-3384-2337
ウェブサイト <https://www.wcrp.or.jp>

プログラム（敬称略）

司会：館野庸子（解脱会青年本部事務局次長・WCRP日本委員会青年部会幹事）

14:15 開会 平和の祈り 開会挨拶	黒住宗道（黒住教教主、WCRP日本委員会理事）
14:20 諸宗教平和 円卓会議 報告ビデオ	
14:25 成果報告	根本昌廣（WCRP/RfP国際委員会シニアアドバイザー）
14:35 ウクライナ 難民人道支援 ボランティア報告	安勝熙（WCRP/RfP日本委員会平和推進部長）
14:40 基調講演	田中優子（法政大学名誉教授・前総長、江戸東京研究センター特任教授）
15:20 休憩／茶話交流会	※会場参加者対象
15:50 パネル ディスカッション	コーディネーター：橋本伸作（大本東京本部東京宣教センター長・WCRP日本委員会活動委員） パネリスト：菊地功（カトリック東京大司教区大司教・WCRP日本委員会評議員） 庭野光祥（立正佼成会次代会長・WCRP日本委員会理事・WCRP/RfP国際共同議長） 尾崎元（共同通信社「メディア戦略情報」編集長）
フロア ディスカッション	
16:55 コーディネーター 総括	
16:58 閉会挨拶 平和の祈り 17:00 閉会	戸松義晴（浄土宗総合研究所副所長・浄土宗心光院住職・WCRP日本委員会理事長）



菊地 功

カトリック東京大司教区大司教
WCRP日本委員会評議員

1986年司祭叙階後、同年ガーナに宣教師として派遣。帰国後は、神学生を養成した。1999年から神言会日本管区長を務める。2004年司教に叙階。2014年ローマ教皇庁福音宣教省委員。2017年10月25日東京大司教に任命、同年12月16日就任。カリタスジャパン責任司教、カリタスアジア総裁、国際カリタス評議会メンバー、教皇庁福音宣教省委員、アジア司教協議会連盟(FABC)人間開発局委員を歴任。



庭野 光祥

立正佼成会次代会長
WCRP日本委員会理事
WCRP/RfP国際共同議長

立正佼成会入職後、人材養成機関である学林本科に学び、1994年次代会長に指名される。現在、法華経の研鑽につとめるなか、教団の主要行事における参拝者への講話や国内外での宗教協力活動に取り組み、次代会長としての修行を続けている。

（公財）新日本宗教団体連合会（新宗連）常務理事、アブドラー国王宗教・文化間対話のための国際センター(KAICIID)理事などを務める。



尾崎 元

共同通信社
「メディア戦略情報」編集長

立教大学卒業後、1980年共同通信社入社。京都支局などを経て1990年からテルアビブ支局長として湾岸戦争取材。1996年以降、ニューヨーク支局記者、ジュネーブ支局長、ニューヨーク支局長として国連、国際機関取材。2021年共同通信社退職、現在は同社「メディア戦略情報」編集長。上智大学文学部新聞学科と大学院文学研究科新聞学専攻で非常勤講師、WCRP日本委員会国際広報顧問。

本日の学習会に関して、QRコードまたはURLよりアンケートのご協力をお願いいたします。

<https://forms.gle/gEoUhacoGRbZ1Hct5>

